

社会・地域への責任と行動

[地域貢献活動]

ここにムラタがあることが
地域の誇りであるように。

ムラタグループの
国内事業所における
小中学生向けの
理科や環境に関する
出前授業の開催回数

163回



環境学習、森づくり、エコキャップ収集、市産業フェスティバルへの参加…。
地域のために、地域といっしょに、事業所を挙げて。

登米村田製作所はムラタグループのほかの拠点と比べると小さな事業所ですが、CSR委員会を組織して、従業員全員参加の活動を目指して積極的な地域貢献活動を展開しています。たとえば、登米市内の小学校を訪問する「環境学習」は、年々依頼が増え、2014年度で20回を予定します。子どもたちや先生の意見を取り入れて内容をさらに良いものにしていくために、私たちも日々わくわくしながら取り組んでいます。「エコキャップ収集活動」は地元の新聞で紹介され、地域の方々や遠く仙台からも宅配便で大量のエコキャップが送られてきました。登米市内の森林で行っている「ムラタの森」活動では、将来地域の人々が安らげる場所を目指して整備を行い、山桜などの植林を進めています。また、森林の保全を通じて、津波で損なわれた三陸の豊かな海の再生に寄与することも目的としています。登米市主催の産業

フェスティバルでは、ムラタの出展スペースを広く取ってもらっており、地域の方々の期待に応えるために「ムラタセイサク君®」のデモと併せてゲームや工作のコーナーを設けたりなど、さまざまな工夫を行っています。このように、登米村田製作所の地域貢献活動は、地元の人々との強い絆のもとで行っています。2011年3月11日、東北地方を襲った地震は、地域全体にたいへんな被害をもたらした。登米村田製作所も被災しました。地域のためにできることをしたい…その想いは、震災以降、さらに強くなっています。「ここにムラタがあることが地域の誇りでありたい」登米村田製作所は、そのスローガンのもとに地域貢献活動を展開しています。私たちは、地域のために、地域とともに、活動を展開していきます。「僕らの学校に来てくれてありがとう」そんな小学生からの手紙が、私たちの力になっています。

写真左より
株式会社登米村田製作所
商品設計課
坂東 政博
IE係
佐藤 留美子
業務課
インタン マスリンナ
事務課
菅野 忠美
製造2課
齋藤 久芳
品質管理課
千葉 未来
事務課
大星 かなみ
技術課
三塚 税
製造2課
木川田 圭一

Murata Electronics
(Malaysia) Sdn. Bhd.



写真：
大勢の子どもたちに
見守られながら走る
セイサク君

マレーシア進出から20年。ムラタセイサク君®を
活用した地域とのコミュニケーション。

Murata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd. では、2014年3月に設立20周年を記念した催しを行いました。その行事の一環として、事業所のあるペラ州近隣の学校でセイサク君の出前授業を実施しました。今回は主に技術を学ぶ学生が多い専門学校や大学を訪問し、セイサク君のデモを披露しました。また、技術に対する理解をより深めてもらうため「倒れない原理」や「使っている部品」も紹介しました。セイサク君の細かな動作はたくさんの学生たちの熱い視線を浴びました。今後も、セイサク君を通してさまざまな国や地域で理科や科学の面白さを伝えていきたいと考えています。



伝統ある小諸村田製作所の
自衛消防隊活動。

小諸村田製作所の自衛消防隊は、前身の日立製作所小諸分工場時代の1967年6月に発足してから47年という長い伝統があり、これまで工場の防災活動を支えてきました。28名からなる部隊は、消防操法の基本を順守し、規律正しく迅速・確実な行動が取れるよう、定期訓練や社内放水競技会、さらには消防署との技術向上訓練などを通して技術練磨に励んでいます。火災、地震などの不測の事態にも、地域の活動に協力するとともに職場の先頭に立って消火・救出活動が行えるよう、万全を期しています。また、小諸市で開催される防災訓練や出初式にも参画しており、今後も地域消防・警察との連携を図り、地域の防災意識の高揚にも貢献できるよう努めてまいります。



写真：

- 1 小諸市主催の消防出初式
- 2 工場出初式の様子
- 3 火災を想定した救護訓練の様子

小諸村田製作所